

今週のビルマのニュース  
2010年1月29日【1004号】

**アウンサンスーチー氏 今度は「11月に解放」説**

・軍政の内相が21日、国内の会合の席で、アウンサンスーチー氏が今年11月に解放されると述べたことがわかった(26日AFPほか)。昨年5月の拘束時から起算すれば今年11月が拘束期限となるとも解釈できるが、大臣の発言の根拠は不明(「背景」参照)。

【背景】アウンサンスーチー氏2009年8月に禁固3年の有罪判決を宣告された直後、次の減刑措置を受けた。刑期(3年)の半分を免除、残り半分を執行猶予とする。執行猶予期間(1年半)は自宅に居住し、規則を守り品行方正なら期間満了時に刑を免除する。

・アウンサンスーチー氏の弁護士によれば、氏は大臣の発言を「不当」だと非難した。氏は現在の自宅軟禁の根拠である有罪判決を不服として最高裁に上告しており、最高裁は1カ月以内にも判断を下すと見られている。このため氏は大臣の発言が判決に影響を与えることを懸念している(28日イラワディ)。

・アウンサンスーチー氏が11月に解放されるとの報道に対し、クローリー米国務次官補は「(総選挙が10月に実施されるとの前提に基づけば、軍政にとって)都合よく総選挙後に解放されるというのは残念だが、今後も氏の解放を求めてビルマ政府に働きかけを続ける」と述べた(26日国務省会見記録)。

**停戦団体幹部が暗殺される**

・シャン州に拠点を置き、軍政と停戦協定を結んでいる民族民主同盟軍(NDAA、別名モンラ軍)のミンエイン事務総長が27日、何者かに銃撃され死亡した。軍政は今年予定の総選挙を前に、停戦協定を結んだ武装組織に対しそれぞれの軍部を国境警備隊に再編し、国軍の指揮下に入れるよう要求している。NDAAは要求を拒否していたことから、軍政が暗殺に関わったと見る筋もある(28日イラワディ)。

**メコン地域のトラが激減 ビルマも会合に参加**

・世界自然保護基金(WWF)は26日、メコン川流域5カ国に生息するトラは約350頭で、前回の寅年から7割以上も減少したとの調査報告を発表し、保護が強化されなければ次の寅年の2022年までに絶滅する恐れがあると警告した。タイでは27日から、同5カ国にインドやロシアを加えた13カ国が森林保護等について閣僚級会合を行っており、これに続いて9月にはロシアで首脳級会合が開催予定。カチ

ン州に世界最大規模のトラ保護地区を持つビルマも参加している(26日共同など)。

**ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など**  
新たな発表はなし

**イベント情報**

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、25~29日15~16時)

・モン・ナショナルデー モン民族の伝統料理や文化紹介(板橋区立グリーンホール、31日18時~)

・第59回ビルマ市民フォーラム例会 根本敬(上智大学教授/運営委員)講演「アウンサンスーチーの非暴力主義は現場でどう解釈されているのか: タイ国境の民主化活動家たちの場合」ほか(池袋・ECOとしま8階、2月6日18時~)

**注目記事**

・科学国際安全保障研究所(ISIS)「ビルマの核開発疑惑~転用可能な機器を新施設に搬入」(28日)

ビルマが北朝鮮と協力して核開発を行っているとの疑惑や、核開発に転用可能な精密機器をスイス・ドイツ・日本にある企業から輸入し、用途不明の新施設に運び込んだことに関する記事(英語)。同施設の衛星写真付き。<http://isis-online.org/isis-reports/>

**新刊**

・宇田有三『閉ざされた国ビルマ』カレン民族闘争と民主化闘争の現場をあるく(高文研)発売中

**もっと詳しい情報は**

☆Twitter公式アカウントはこちらです  
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ  
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165